

令和5年度第3回学校運営協議会会議録

1 開会

2 校長あいさつ

3 議長選出について

議長 : PTA会長 斎藤 芳里 様

4 報告 (副校長)

- ・専攻科
- ・外部とのかかわり
- ・大会報告
- ・資格取得状況
- ・進路状況
- ・学校評価アンケート集計結果

5 協議

- ・令和5年度学校評価報告について

委員 : 報告書のオについて

「地域産業講座」は、生徒が進路選択する際に大切な取組になっている。是非継続してほしい。希望する企業全ての講座が開催できるように環境を整えてほしい。

P2のウについて

「出前授業」は、小・中学校に黒工を知っていただく良い機会である。先生方には保護者へ伝えるためにも柔軟に情報を得て企業を十分に知っていただきたい。

学校 : 「地域産業講座」につきましては、LHRで調整しながら開催に努めたい。

委員 : 報告書のウについて

前年度までと比較してみても合格率が大幅に低下した資格があるが、その原因は何か。就職した企業で必要な資格は確実に取得させることが大切である。

学校 : 出題傾向が変わったことも原因の一つである。

部活動に支障がないように早朝学校で自学自習をしたり、授業の中で指導する等、資格取得には力を入れている。

委員 : 報告書のアについて

「分かる」と「できる」は異なるということをしっかり理解することが重要である。

- 報告集のイについて
「学校で学んでいる」と「企業で働く」ことは異なる。
- 報告書のエについて
先生方には、「いじめ防止対策」によく取り組んでいただいている。自殺者を出さないようお願いしたい。
- 学校 : 本校は「いじめ」が少ない。定期的に「いじめアンケート」を行って、早めに状況を把握するようにしている。
- 委員 : 中学校で勉強が苦手だったが、黒工に通っている生徒でも「授業が分かる」生徒の割合が90%を超えているのは、先生方が工夫しながら学習指導をしている成果である。
- 委員 : 「出前授業」等、体験的な学習を行っている。これは、キャリア教育でもあり、社会に通用する生徒の育成を行っていることでもある。生徒は、黒工で楽しく授業を受けている。
- 委員 : 報告書のオについて
進路についての三者面談の機会が他校に比較して少ない。面談の機会を増やしてほしい。進学後の学習が心配である。選択した進路を進んでいくためにも高校での学力は必要だ。
「出前授業」を拝見した。説明している生徒の姿が非常に印象的であった。是非継続していただきたい。
- 委員 : 生徒はどのような職場があるのか把握していない。部活動で学んだことを生かせる企業にいくためにはどうしたらよいか。
- 学校 : ① 基礎学力を身に付ける。
② 企業見学に積極的に参加する
③ 求人票を見ながら、先輩の話を聞きながら担任と面談して進路希望先を検討する。。
- 委員 : 中小企業が新卒者を確保する方法とは。
- 学校 : 近年、地元を希望する傾向が高まっている。また、生徒は先輩が就職している企業を選択するので、「受験報告会」を行い、進路決定の参考としている。
- 6 その他
学校 : 学校運営協議会委員については、1年任期ではあるが、次年度も継続してほしい。
- 7 閉会